

【環境園芸学科】

参観授業として2授業開催した。参加者数は各授業1名と極めて少なかった。前回の参観授業への参加者からは有意義な刺激を受けたとの印象が伝えられていたが、参加者が少なく貴重なFDの機会が活かされていない。参観の機会を促すため開催数を増やすことも考えられる。

表 平成24年度 環境園芸学科参観授業と参加者数

担当教員名	参観授業名	実施日時	参加人数
北村 泰一	水 辺 環 境 論	12月12日(水)2時間目	1名
平岡 直樹	都 市 計 画 論	12月14日(金)1時間目	1名

【管理栄養学科】

(対象授業)

授業①: 伊藤 薫 教授 12月17日(月)2限 宮崎 C-3202 教室 からだと栄養Ⅱ

授業②: 小川 恒夫 教授 12月17日(月)3限 宮崎 C-3202 教室 からだと疾病Ⅱ

(参観者)

授業①: 3名(短大横堀仁志准教授, 事務局総務課猶原みどり係長, 管理栄養学科朝見祐也准教授)

授業②: 5名(管理栄養学科田代晶子教授, 管理栄養学科竹之山慎一准教授, 事務局総務課赤木裕美課長, 事務局企画広報課黒木博昭課長, 管理栄養学科朝見祐也准教授)

(課題)

- ・ 例年管理栄養学科では、参観者が1授業につき、2名ほどしか参観者がいなかったが、今回は多くの参観者に参加いただいた。
- ・ 管理栄養学科以外の方々(短大・事務局)からの参加も多数であった。
- ・ 次年度以降も、教授会・学科会議等を用いて、参加促進を図る必要がある。
- ・ 参加いただいた先生、参観授業を公開いただいた先生ともに、自身の授業を見直す機会となり、今後も継続して実施する必要がある。
- ・ 参観をする授業の時間について、多くの参加者が見込める時間設定も必要になるかもしれない。

【食品健康学科】

(1)対象授業

2名の教員が担当する下記科目を授業参観対象科目として実施した。

日時	授業科目	担当教員	参観者	
12月13日(木) 1講時	食物アレルギー論	中瀬	3名	管理栄養学科 小川教授
				総務課 桑水流課員
				企画広報課 戸高課員
12月17日(月) 3講時	栄養学Ⅱ	紺谷	1名	企画広報課 戸高課員

(2) 参観結果

上表の通り、参観者は対象2科目で延べ4名であった。学科内で参観授業の実施について何度か通知したにもかかわらず、これまでと同様に参観者が少ない結果となった。他教員の授業を参観することに対する教員の意識の低さは変化していないようである。授業参観は、授業実施教員の改善につながる可能性のみではなく、参観者にとっても、自身の授業改善に対する意識を必要に応じて高めることにもつながると考えられる。今後は、参観義務化の必要性の有無を検討することも選択肢の一つであろう。

【子ども教育学科】

本学科では下記のように2名の教員による参観授業が実施された。

- ・12月14日(金) 3限目 古賀隆一教授「保育内容指導法(造形表現)」 参観者1名
- ・12月17日(月) 4限目 内田芳夫教授「発達心理学」 参観者4名

昨年同様、ベテラン教員2名に授業をご担当いただいた。両教員の授業とも丁寧なレジュメが準備されかつ術語を補足説明する等学生への配慮がうかがえた。授業の進行の中で双方向コミュニケーションを活用し、学生のモチベーション向上を企図している点について学ぶところ大であった。また、授業の基調に学生の多角的視点・理論的思考力の育成の形成が志向されていることが示唆されていた。

【教養・教職センター】

教養教職センターの参観授業は12月14日(金)4限の体育実技(西村盛正先生)であった。参加者は一人。

西村盛正先生と学生の交流やその教え方を見て参考になった。滅多に元気な姿を見せない学生も体育館では非常に元気な様子を見せた。また座学授業では自信がありそうな学生は体育館ではそんなに自信がなさそうに見えて興味深かった。余裕を作って座学授業でもいろいろな関わり方の機会を作るべきだと感じた。